



# 石東中だより

5月号 平成24年6月5日  
発行者：練馬区立石神井東中学校  
校長 堀井安伸

## 運動会から学んだこと

校長 堀井安伸

本校伝統の運動会が、晴天にも恵まれ、大成功で終えることができました。多くのご来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様にはご多用の中ご来校いただき誠にありがとうございました。皆様に見守られる中、生徒たちは、見事な演技や競技とともに係の仕事や応援席での態度、行動も大変素晴らしいものでした。また、準備期間中の練習態度や取り組み方がとても意欲的で、自分たちの手で運動会を成功させようという熱い思いをもってくれたことが、なによりもたのもしく感じていました。



特に、感心したのは、開会式の挨拶でも紹介しましたが、生徒の中のリーダーである生徒会役員や運動会実行委員の生徒たちがその思いが強かったことと、その思いを受けてそれぞれの生徒が活躍してくれたことです。スローガンパネルづくりの生徒たちは、得意なことでクラスに貢献したいという思いをもって取り組んでいました。各係の生徒たちは、各クラスで自主的に引き受け献身的に自身の仕事をしてくれました。また、クラスのまとめ役を自主的に務めてくれた各クラスのリーダーたち。自身の演奏で運動会を盛り上げようと一生懸命練習した吹奏楽部の生徒たち。運動の不得意な仲間に根気よくアドバイスや励ましをしてくれた生徒たち、組み体操で痛さを我慢して土台になり仲間を支えてくれた生徒たち。ダンスで自分も筋肉痛で大変な中、なかなかうまくいかない仲間や後輩に優しく教えてくれた生徒たち。クラスの優勝のために一生懸命練習した各選手たち。毎日、朝早くから練習に取り組んだ全校生徒たち。こうした全部の生徒たちの努力の集大成が今年の運動会の成功をもたらしたのだと思います。生徒の自主的な思いと主体的な行動こそが、ひとつの行事を成功させ一人一人の成長の糧になる事をあらためて感じています。

当然のことですが、生徒たちの自主的な思いは、学校教育には必要不可欠なことです。本校を、生徒たちにとって良い学校していこうとするならば、生徒の自主性に依るところが大きいということです。そこで、どの学校にも生徒会という組織があります。生徒会は生徒自身が自らの学校生活を改善していくためにあるものです。まさに、自治の精神を育むとともに自らの意志で自らを成長させようとする大切な活動なのです。今回の運動会でも確かに生徒会と実行委員会を中心に、生徒自身が成功させようとしなければ絶対に成功することはありませんでした。生徒会を核とした全生徒に、自主自立の精神をもった自治活動があれば、本校をますます明るく元気にして発展させていくことができると確信しました。

運動会が終わり振替休業日あけの火曜日の朝、生徒会役員が校門に立ち挨拶運動を始めていました。本校の生徒会が、運動会終了直後に「より良い学校づくり」を目指す活動をすでにスタートしていることに感心しました。今後の生徒会および生徒全員の自主自立の活躍に大いに期待していきたいと思っています。